

## ヒヨクソウ *Veronica laxa* Benth.

### 【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、補正+1 (シカ食害)、総点 14。愛知県では生育地も個体数も極めて少ない。

### 【形態】

多年生草本。茎は斜上して立ち上がり、上部で分枝し、高さ 25~70cm、密に軟毛がある。葉は対生し、茎の上部のものが大きく、下部に向かって小さくなり、ほとんど無柄、葉身は卵形、長さ 2~4.5cm、幅 1~3cm、先端は鋭頭、基部は円形、縁にあらく不規則な鈍鋸歯がある。花期は 6~7月、茎の上部の葉腋から長さ 5~20cm の細い花序を出し、多くの花をつける。花冠は淡紅紫色または淡青紫色で 4 裂し、皿形、直径 6~8mm、蒴果は倒心形で幅 5~6mm、扁平である。

### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

東：2 豊根 (芹沢 94229, 2018-6-18)。1 カ所に生育しているだけである。

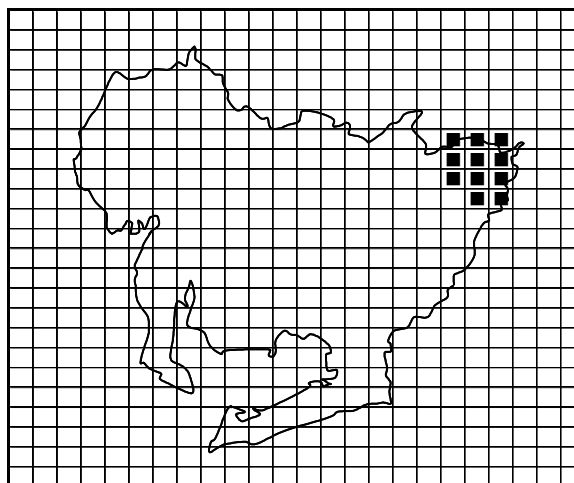
#### 【国内の分布】

北海道 (西南部)、本州、四国。

#### 【世界の分布】

日本から中国大陸、ヒマラヤ、小アジアにかけて分布する。

要配慮地区図



### 【生育地の環境／生態的特性】

日あたりのよい草地や明るい林縁などに生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩	○			
湿地				
水域				

### 【現在の生育状況／減少の要因】

豊根村では 3 カ所にあつたらしいが、うち 2 カ所ではキャンプ場の設置、遷移の進行などによって見られなくなり、現在では茶臼山周辺に生育しているだけである。現地は適度に草刈りが行われているが、個体数は少なく、ニホンジカによる食害も目立つ。

### 【保全上の留意点】

茶臼山は、自然とのふれあいの場を確保するという意味でも、現在以上の開発を避けるべきである。

### 【特記事項】

和名は、対になった花序に由来する。

### 【関連文献】

保草本 I p.144, 平草本 III p.111, 平新版 5 p.85, SOS 旧版 p.81.